

8/20(土) 10:00~10:45 清和台南小学校 参加者21名 発言者 のべ 3名
○…ご質問、ご意見 →…川西市教育委員会の説明

<地域の方>

○先ほど、平成28年度の就学児童数推計が、1年から4年までは40人で2学級です。5年生から1学級にしているのは、なんか理由があるんですか。

→文部科学省の方では、1年生については35人学級、2年生以上については40人学級ということで、学級数を決めております。ただし兵庫県教育委員会の方で兵庫県については、2年生、3年生、4年生についても35人学級を実施しておりますので、1年生から4年生までは35人で1学級ということでございます。5年生、6年生については40人学級になるということで、その4年生と5年生の間で学級数の違いが出てくるということでございます。

<地域の方>

○手順を作成ということで、これから作業に入ると思うんですけど、だいたい、いつごろを目途に新しい方針が出てくるのか、よろしく願いいたします。

→まず、統合決定を判断するにあたりまして、児童数の推計というものが、大きな要素です。お調べになって頂いたらわかりますが、どこの自治体もですね、児童推計は出しにくい、難しいわけです。清和台なら清和台なりに、緑台なら緑台なりに、川西市なら川西市なりに一番妥当である推計方法をまず模索します。これが恐らくですけどそんなに簡単ではないので、今年度、今年中はおかかると思います。そこから、推計に基づいて改めて児童数を予想します。そのようなステップを踏んでから、こういう状態になった時は、統合せざるをえませんか、あるいは、しないでいいかもしれませんね、というご提案をする予定だと思います。実際手順がいつになるかというのは、目標が決めにくいという状態です。おしりが決まって、それに合わせて仕事をするというより、様子を見ながら、納得していただけるような考え方であるとか、それを努めてやっていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

→今の説明で曖昧に時間を過ごすというつもりは、我々もありません。子どもさんの教育の状態、学校の状態をずっと見極める必要があると思っております。そういうことから、統合年度については、とにかく校区審議会で審議していただいた時よりも、明らかにずれているので、これは事実として認めないといけないというふうに考えております。そこで、統合年度については再検討いたしまして、新たな児童推計方法を検討し、どの段階で適正配置措置をすべきかを考えさせてください。つまり、統合校や統合年度が新たに今の時点で、決まったわけではありません。こちら清和台南小学校の方に一旦統合するといったように

ご説明いたしましたけれども、それをひっくり返すとか、そんな話ではなくて、統合校や統合年度が新たに決まったわけではないので、さらに検討を加えていきたいとそうように考えております。この後清和台小学校でもご説明いたしますが、そういった意味で再検討するというので、わかっていただけるような内容になるために検討を加えていきたいという、今の状態であるということです。

<地域の方>

○1点確認させていただきたいのですが、4ページところの今後の、適正化に関する手順の作成、とあるんですが、今回たまたま清和台とグリーンハイツが対象になったわけですね、統合については。これは川西市全体の問題やと思うんですね。そういったところで今色々な手順をこれから作られて、その条件にマッチしたならば統合が、他の川西の小学校、今16校あるんだけど、それ以外のところも同じ条件が整えば、統合をやっていきますよ、というものを作りあげようとしてるのですか。ちょっとお聞きしたいです。

→基本的には、川西市全体がこれから児童数が減っていく、これはもう小学校だけではなくて、中学校も含めてのことです。そういった中での手順というのを作成していこうというふうに考えております。それぞれの地区の状況も、色々と背景がございますので、その辺は今後もしっかりと考えていかなければならないとそういうふうに思っております。基本的には川西市全体の手順というものを考えております。

終了